

研修生視察報告

12月15日(火)、永年オイスカ会員として協力頂いている「株式会社正興電機製作所」の古賀事業所に、研修生一同工場見学に行ってきました。最先端の電子制御システムや蓄電装置などの製造現場の見学や、メダカを利用した水質管理システムなど、説明を聞けば聞くほど解らなくなるような難しい話を聞く事が出来ました。研修生にとっては専門外の分野でしたが、効率的な作業運営のしくみなど、参考になった面も沢山ありました。午後からは、箱崎にあるクリーンパーク臨海・臨海工場を見学し、福岡市で行われているゴミ処理システムやリサイクル事業の取り組みなど、自国と比較して工場内が清潔に保たれている事や、公害を出さない処理システムなど驚く事ばかりで、「私の国にもこれが欲しいです」と訴えるように話をしていました。研修生一同、改めて日本の産業技術や環境保全事業のレベルの高さを感じた1日でした。(豊田)



正興電機製作所玄関前にて

マレーシアマラ公団学生来所

12月18日から24日まで、マラ公団 MRSM 高校の学生7名と家族5の12名でオイスカの研修センターに宿泊しました。日本に初めて来る方ばかりで日本文化や風習、生活様式を勉強する為に来日しました。規律訓練をはじめとして、農業体験、うどん作り、新幹線試乗、糸田町でのホームステイ、環境視察、早良高校での剣道、書道、茶道体験、天山スキー場での橇遊び、長崎原爆資料館見学等、盛りだくさんのスケジュールをこなしました。ご協力頂きました皆様、ありがとうございました。(豊田)



早良高校にて
剣道着をつけて
体験 →

天神クリスマスマーケット舞台に出演

師走も半ばを迎えた12月16日(水)の夜、今年から福岡市役所前広場で初めて開催されたイルミネーションのイベント「天神クリスマスマーケット」の舞台に、午後6時30分から30分間の時間を頂いて、研修生全員が参加して国の紹介や民族舞踊の披露を行いました。当日は小雨が降る寒い夜でしたので、お客さんもまばらでちょっと寂しかったですが、イルミネーションで飾られた会場のステージで民族舞踊などを披露出来た事は、彼ら研修生にとって最高の思い出になりました。(豊田)



イルミネーションをバックに
記念撮影 →

福岡西ライオンズクラブ クリスマス会参加

12月21日、西鉄グランドホテルにて、福岡西ライオンズクラブ(会長:作村様)より招待を受け、研修生8名が参加しました。前川ひろし(前川清のソックリ?さん)のステージに、笑いと共にキョトンとした表情で研修生も見入っており、その後、研修生の得意の出し物で会場も盛大に盛り上がりました。福岡西ライオンズクラブの皆様、ありがとうございました。(廣瀬)



クラブ会員
の方との記
念撮影 →

壱岐小学校6年生来所

毎年恒例となりました、壱岐小学校6年生が、農業体験と交流にセンターへ来ました。1学年7クラスで2日間にかけて180名近くの子もたちで、センターも畑もたいへん賑やかでした。研修生による国の紹介では、みんな熱心に聞き入りたくさんの質問をしていました。また、一緒に踊ったり、子ども達からもリコーダー演奏など披露してもらいました。子ども達にも他の国のことを知る良い機会になり、研修生も元気をもらいました。(彦坂)



子どもたちとイモほりです

「わきやま歳末マルシェ in 九電」が盛大に開催

平成27年度より始まった、九州電力との協働事業である米作りプロジェクト「こらぼら九電 in 脇山」は、6月の田植えから始まって10月に稲刈りが無事終了し、天候不順で収穫量は例年より少なかったですが、大勢の方に参加して頂き盛大にイベントを開催する事が出来ました。そして、12月13日(日)には、今年の実りを沢山の方に振る舞う事を目的として、九州電力本社横にある電気ビルの1階広場にて、「わきやま歳末マルシェ in 九電」が盛大に開催されました。脇山地域の農産物をはじめ、オイスカみかんのつめ放題、ポン菓子のお土産、ガラスアートや正月飾りづくり体験など、盛りだくさんの出店に加えて、なんと60kgのもち米を準備も行われました。つきたてのおもちは、きな粉や大根おろし、おしるこなどに入れられて、会場に集まった方全員に振る舞われました。試食した方は「こんなにいいおもちは初めて食べました」と大満足の様子でした。(豊田)



楽しくお餅つきをしました

オイスカインドネシア総局より 技能実習生の調査のため来所

12月10日(木)、インドネシアにおける技能実習生の派遣機関を担っている事務局担当者2名(オイスカOB)が、福岡県内にある技能実習生の受入れ先2件を訪問しました。1件は朝倉市で瓦葺業を行っている本石産業(オイスカ朝倉推進協議会役員)、そしてもう1件は今年10月より技能実習生が配属された三友金属(溶接業)の2件で調査を実施しました。どちらの受け入れ先からも技能実習生の意欲と能力の高さに高い評価を頂き、周りの社員に対して非常に良い刺激になっているとの言葉を頂きました。3年間で習得した技術や高い知識を、いかに帰国後活かしていく事が出来るか、改めて具体的な対応を進めていく必要性を感じながら、いきいきとした実習生の言葉に耳を傾けていました。(豊田)



インドネシア技能実習生訪問

今年最後の「もちつき大会」盛大に開催

12月26日(土)、数日続いていた暖かい陽気から一変して、朝から霜が降りる寒い中、センター主催の「もちつき大会」が盛大に開催されました。体験農園に登録している家族連れをはじめ、地元ライオンズクラブや協働事業を進めている会員企業の方など130名程が参加し、海外研修生と一緒に餅つきをしたり、正月飾りづくり体験を行いました。オイスカのつきたてのお餅の味は評判が良く、120kg準備していたもち米(40ウス分)が、全て参加者のお腹の中に入ったのと、購入して頂いた分とできれいになくなってしまいました。12月に入ってから毎週のようにどこかのもちつき大会に参加してきた研修生は、すでに餅つきのプロとなっており、あまりの手際の良さに参加者たちからも拍手が沸き上がる程に盛り上がり、平成27年の最後を飾るのにふさわしい、賑やかなもちつき大会となりました。(豊田)



ペタン、ペタンついてます